

■根津嘉一郎 地方政界から中央に出、東武鉄道を再建して"鉄道王"、{武蔵大学}創設し{根津美術館}を遺した。

ねずかいちろう

桜田門外変・1860＝ 甲斐国(山梨県)正徳寺村で、地主で金融・種油製造を営む家の次男に生まれた。

明治維新・・1868＝ 8歳：

戊辰戦争終・1869＝ 9歳：

明治6年政変 1873＝13歳：

西南戦争・・1877＝17歳：東山梨郡役所書記となる。

大久保暗殺・1878＝18歳：

琉球処分・・1879＝19歳：上京して漢学者馬杉雲外に入門。

明治14年政変1881＝21歳：

帰郷後、共愛社を設立。

国民之友始・1887＝27歳：

帝国憲法発布1889＝29歳： 村会議員をふりだしに、郡会、県会の各議員に当選、地方政界で活躍する一方、

帝国議会始・1890＝30歳：この年、多額納税貴族院議員に選ばれ中央政財界に進出した_山梨県出身の企業家若尾逸平の影響を受け、

家産を投じて株式投資を開始、やがて巨額の利益を得、

日清戦争始・1894＝34歳：

白馬会・・・1896＝36歳： 兄が病弱だったため自ら相続していた家督を兄に譲って、

八幡製鉄始・1897＝37歳： 東京での実業に専念。

子規句歌革新1898＝38歳：兄と家産を分割。

日露戦争始・1904＝44歳： 衆議院議員に当選して(以来連続4回)、中央政界にも進出すると、

日露戦争終・1905＝45歳： *当時苦境にあった東武鉄道の社長となり、経営を再建する。

満鉄発足・・1906＝47歳：大阪の豪商平瀬家の売り立てで、名物の硯箱を最高値で落札したことから、数寄者界に知られ、

また20余の鉄道の経営に参加し、

明治天皇没・1912＝52歳：

第一次大戦始1914＝54歳：

21ヶ条要求・1915＝55歳： *鉄道同志会副会長(のちに会長)に就任するなど鉄道界に重きをなし、"鉄道王"と呼ばれたが、本拠は一貫して東武鉄道にあった。

本格政党内閣1918＝58歳：高橋篤庵に唆されて、素人ながら茶会を開催、優れた振舞いで、大茶人として認められる。

大暴落・・・1920＝60歳：有価証券・不動産保全のため根津合名会社を設立、

原敬首相暗殺1921＝61歳： *私財を投じて財団法人{根津育英会}を創設するとともに、武蔵高校(武蔵大学)を創立した。

水平社結成・1922＝62歳：歳暮の茶会も話題に。なぜか、この年来日したアインシュタインがわざわざ会見。

関東大震災・1923＝63歳：富国徴兵生命保険の創立など鉄道以外の事業にも手をのばす。

円本時代始・1926＝66歳：貴族院議員に勅選された。

世界恐慌・・1929＝69歳： 国民新聞社社長。日光線を開通させ、広域観光地(日光・鬼怒川)開発は、私鉄経営のモデルとなる。

満州事変・・1931＝71歳：

五一五事件・1932＝72歳：

日中戦争始・1937＝77歳：

美術品収集家としても知られ、

大政翼賛会・1940＝80歳： 没した。財団法人根津美術館設立認可、翌年開館する。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、